

第1号議案

2024年度 事業報告

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会（市同教）は、発足以来「差別の現実深く学ぶ」ことを基本理念として、同和問題を中心にあらゆる人権課題の解消と人権文化の確立をめざし、教育や啓発活動に取り組んでまいりました。

本年度は、市同教が積み重ねてきました人権・同和教育の成果をしっかりと継承しながら「1人の100歩より100人の1歩」という言葉のもと、より多くの市民の皆様に人権・同和教育への理解や関心を深めていただくことを願って活動してまいりました。

研究大会では、大会テーマを「誰もが自他の人権を尊重し、自分らしく幸せに生きることができるまちづくり」とし、基調講演は、川口泰司さんに『ネット人権侵害と部落差別の現実～「寝た子」はネットで起こされる！？～』の演題で、ご講演いただきました。悪意のない人であっても無意識のうちに差別の加害者となってしまうネット社会の現状や人権課題への無理解や無関心が引き起こす日常の人権侵害等について、熱く、分かりやすくお話しいただきました。参加いただいた多くの方々に大会テーマに迫るための大切な視点である「学びの大切さ」や「マジョリティ側が果たすべき責任の大きさ」等についてしっかりと感じ取っていただけたことと思います。

2021年にスタートしました人権・同和教育セミナー（全5回）は、4年目にし初めて同和学习だけでなく個別的な人権課題の学習（第2回：障がい者の人権、第4回：性の多様性と人権）を計画いたしました。また、より多くの方々に参加いただく事を願って、専門部会とタイアップしました。障がい者部会が第2回セミナーを、女性の人権と性の多様性部会が第4回セミナーを、そして地域部会が年間5回開催のセミナーの中から学習内容を選択して参加するという形を、それぞれの部会研修として計画していました。しかしながら、第2回セミナーと第4回セミナーは台風の接近や大雨警報の発令により、やむなく中止となり参加予定の皆様には、直前での連絡となり、ご迷惑をおかけいたしました。開催しました3回のセミナーにつきましては、同和学习として実施しましたが、全ての人権課題の解消につながる考え方や視点についても学ぶことができました。また、他の専門部会につきましては、充実した研修を計画通りに実施することができました。

「みんなの人権を考える映画会」は、第2次世界大戦で日本における最大の地上戦となった「沖縄戦」を描いた『島守の塔』を上映いたしました。今は、ロシアとウクライナの戦争やイスラエルとハマスの戦闘等、世界各地で起きている紛争や内戦に多くの方が心を痛めておられるのか、子どもたちも含め200人近い方々に鑑賞いただきました。

現地学習のフィールドワークは「水平社の理念から学ぶ」～人間の尊厳と平等を求めて～のテーマで、奈良県御所市の水平社博物館で行いました。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」に込められた想いや、人を尊敬することによって差別を克服していこうという理念に触れることができた貴重な1日となりました。

市同教の啓発誌として年3回発行しています会報「人権・同和教育だより 丹波篠山」は、活動内容の紹介をはじめ、エッセイや事業に参加いただいた方の感想、また地域での取組等を掲載し、市民の皆様に分かりやすく親しみやすい紙面づくりに努めてきました。

本年度も、市同教が推進しています人権・同和教育や啓発活動につきまして、市民の皆様より格別のご理解ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

1 丹波篠山市人権・同和教育研究大会

- ① 日 時 2024年12月14日(土) 13:45～16:00
- ② 場 所 丹波篠山市立田園交響ホール
- ③ テーマ 「誰もが自他の人権を尊重し、
自分らしく幸せに生きることができるまちづくり」
基調講演 『ネット人権侵害と部落差別の現実
～「寝た子」はネットで起こされる！？～
- ④ 講 師 川口 泰司さん
(一般社団法人 山口県人権啓発センター 事務局長)
- ⑤ 参加者 371名
- ⑥ 実施状況

近年、インターネット上の悪意ある様々な書き込みや無責任なフェイク情報の拡散により多くの人権課題が生じています。ネット社会はその匿名性や情報発信の容易さから簡単に差別が広がり、偏見が増幅される社会であり、誰もが意図せず巻き込まれてしまいます。今大会は、部落差別とネット人権侵害について学び、あらゆる差別解消をめざし、誰もが自他の人権を尊重し、自分らしく幸せに生きることができるまちづくりの実現につなげようとしてしました。基調講演では、無自覚の差別の恐ろしさ、ネット社会の偏見、差別情報の氾濫について学び、差別を許さないための力強いメッセージがありました。無知、無理解、無関心にならないために、部落問題学習、人権学習が大切であることを改めて強く感じました。

2 専門部事業

1) 保・幼部会

- ① 日 時 2024年10月24日(木) 18:30～20:00
- ② 場 所 四季の森生涯学習センター 東館 大会議室
- ③ テーマ 「不適切な保育を避けるために」
- ④ 講 師 やまがた ふみはる 山縣 文治 さん (関西大学 教授)
- ⑤ 参加者 41名
- ⑥ 実施状況

昨年度に引き続き山縣文治さんを講師にお招きし、「不適切な保育を避けるために」というテーマでお話いただきました。その中では、「不適切チェックリスト」についても教えていただきましたが、こうしたチェックリストは、ネガティブに活用して、できてないことを指摘するためのものではなく、話し合い、改善し、高め合うためにあるのだということを教えていただきました。

また、お話を通して一人一人が日々の園児への言葉がけ、行動についての振り返り園児の人権を大切にする保育の振り返りに大いに役立ちました。

さらに、「適切」か「不適切」かは、説明できるかどうかであり、してはいけないことばかりに目を取られて、しなければいけないことをしないということがないように気をつけながら保育していくことが大切であるということを学びました。併せて、しなくてははいけないことをしないのも人権侵害になるということも教えていただきました。

本研修は、参加者にとってこれまでの保育を振り返り、今後の保育に向けた自信と道標になる良い機会になりました。

2) 学校部会

- ① 日 時 2024年8月9日(金) 9:00～12:20
- ② 場 所 今田まちづくりセンター 2階 集会室

今田町下立杭 上立杭 今田新田周辺

③ テーマ 「人権史跡フィールドワーク研修会」

～明治二年の世直し一揆～

④ 講 師 井関 裕子さん 今井 進さん 高橋 京子さん
中野 佳代子さん 畑 善継さん

(市同教 啓発推進委員 人権の歴史調査研究班)

⑤ 参加者 31名

⑥ 実施状況

今年度は、丹波篠山市で起こった一揆について史実に基づきながら丁寧に説明いただきました。また、その説明の資料として、明治二年の世直し一揆が、どのような経緯で、市内のどの場所で、どのような内容のものであったのかを、分かりやすいスライドと本年度作成された資料「今こそ伝えたい 明治二年世直し一揆」を用いて説明いただきました。

その後、フィールドワークとして今田町周辺に残る史跡に赴き、実際の起こった場所でお話を聞いたことは、当時のことに思いを馳せ、改めて考えを深める機会となりました。

今回の研修の参加者は、比較的若手教員が多かったため、「こんな身近に様々な人の思いが入り交じった一揆があったことを知らなかったのも、良い学びとなりました」「明治の世直し一揆が、今の自分たちの生活に繋がっていることを子どもたちにも気づかせたい」という感想が多く、今後の教師人生の一助となる研修になったと思います。

3) PTA部会

① 日 時 2025年1月19日(日) 13:30～15:00

② 場 所 四季の森生涯学習センター 東館 大会議室

③ テーマ 「今、子どもたちが抱える問題と親としての関わり」

④ 講 師 原 清治さん(佛教大学 副学長 教育学部教授)

⑤ 参加者 62名

⑥ 実施状況

コロナ禍における子どもへの影響は、学力だけでなく学校行事の中止等による「体験」の機会の喪失により、コミュニケーション能力の低下などにつながっています。そして、それは何事も自分で決められない等の自己決定の機会も失っています。

いじめは、立場の逆転が起こりやすく、「遊び」や「ふざけ」のなかに、いじめが巧妙に偽装・隠蔽されています。また、SNSなどのネット上の情報が受けとめ側には、恨み・嫉妬・妬み・羨望になることも認識しておかなければなりません。自分の解釈が優先されるとは限らないのです。

また、子どもたちには、親の与える環境も大きく影響します。親の考えを伝えること、問題解決は、家族、地域、学校等チームで行なうことが大切です。にっこり笑い褒めてやると子どもは行動し、次への力となります。ネットを通じた会話でなく、「なまの会話」を心掛けることが大切です。

聴く姿勢は大人になってからでは身につけにくく、「プレゼン」力をつけるには、子どもの頃の「聴く力」が大切であると学びました。

4) 障がい者部会

啓発チラシ配布活動

① 日 時 2024年12月2日(月)、3日(火)、12月22日(日)

② 場 所 黒豆の館、バザールタウンをはじめ市内9カ所

③ キャッチコピー 「十人十色 素敵な個性があっというんだよ。」

④ 参加者 部会構成団体 41人

⑤ 実施状況

障害者週間（12/3～9）にあわせ、啓発チラシを市内の8カ所で配布しました。また、12/22の市民センターまつりでも配布しました。昨年度より手渡しでの形式に戻し、当事者、関係者、市民の皆さんとのよい交流の場になっていると思います。

- ・本年度は第2回人権・同和教育セミナーを障がい者部会研修会と兼ねましたが、台風のために中止になりました。

5) 女性の人権と性の多様性部会

第1回男女共同参画研修会 丹波篠山市男女共同参画センター主催事業)

- ① 日 時 2024年7月11日（木）19:00～20:30
- ② 場 所 丹波篠山市民センター 多目的ホール
- ③ テーマ 「それってホントにあたりまえ？」
～アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を知ろう～
- ④ 講 師 浜野 千春さん
(国家資格キャリアコンサルタント 社会福祉士)
- ⑤ 参加者 参加者117名中27名が女性の人権と性の多様性部会として参加
- ⑥ 実施状況

女性活躍の障壁の一つである“アンコンシャス・バイアス”について、分かりやすく例を挙げながらご講演いただきました。誰もが自分らしく生き、活躍できる場と機会は平等にあることが望ましく、思い込みや偏見がそれを阻んでいることも多いと思われます。“きっとこうだろう”“こうあるべきだ”と決めつけていないか。その人の可能性や活躍の機会を奪ったり同調圧力や思い込みから傷つけることをしていないか。自分の内にある思い込みを認識し、見直すためにできることは何か。を学ぶことができました。参加者からは「決めつけないようにしたい。相手を思いやる気持ちが必要」「家庭や職場でも偏見にとらわれず、しっかりと対話をしていきたい」等の声がありました。

- ・本年度は第4回人権・同和教育セミナーを女性の人権と性の多様性部会研修会と兼ねましたが、大雨警報のため中止になりました。
- ・第2回丹波篠山市男女共同参画研修会「女性が活躍できる職場づくり」を女性の人権と性の多様性部会理事のみなさんに案内しました。（1名参加）

6) 宗教部会

- ① 日 時 2025年3月7日（金）13:30～15:00
- ② 場 所 丹波篠山市民センター 多目的ホール
- ③ テーマ 「今こそ語り伝えたい 明治二年の世直し一揆」
- ④ 講 師 今井 進さん 酒井 雅子さん 高橋 京子さん
中野 佳代子さん 畑 善継さん
(市同教 啓発推進委員 人権の歴史調査研究班)
- ⑤ 参加者 107名
- ⑥ 実施状況

明治二年頃の世相

戊辰戦争のために、政府は民衆から兵糧米・御用金を取り立て年貢の減額を一切認めず、農民の暴動件数は最多となる。更に、天候不順による凶作で物価が高騰し、都市部では「打ちこわし」農村部では一揆が頻発する。篠山藩の隣の、三田藩、上東条藩で一揆が起こり、三田藩では百姓側が勝利する。

明治二年世直し一揆

篠山藩領の民衆は重税による生活苦の改善を求めて、「今の年貢を5分引き(半分)してください」など7つの要求を掲げて、「打ちこわしを伴う強訴」という一揆を今田の地から始める。11月28日、今田村の大庄屋を襲撃、続いて、古市村の斧屋、大山村の園田家を襲撃する。篠山城下では、藩庁の表門と門前の百姓との間で押し問答や口論が続いた。一揆は次第に町内の家の打ち壊しなどを行い、東部に進行する。最大の激戦地であり、死者が出たのは、小野新の攻防であった。先頭に立っていた皮多村の人に、藩兵が放った鉄砲玉が当たり、一人が死亡、一人が重傷を負った。この激戦を境に一揆軍は離散する。打ちこわし件数 城下町30 福住6 八上下3 その他21 捕縛者176人 首謀者に作り上げられた上立杭村百姓の藤三郎は、9月11日曾地河原刑場で斬首された。墓は上立杭の登り窯の上にあり今も子孫により供養されている。

世直し一揆の意味

幕藩体制の矛盾を突く一揆であった。最初の人権闘争であり、自由民権運動や農民運動へ影響を与えた。歴史があって今がある。地域を知り大切に思う人を作り、豊かな地域を守っていくことの大切さを、この一揆は私たちに教えてくれている。

アンケート感想より

- ・明治の時代に百姓一揆があったとはびっくりしました。篠山の住民になって8年目。まったく歴史は知らないの、いい町だと思って暮らしています。先人の努力があって、いい町になっているのだなと思いました。
- ・結果的に要求は認められなかったとのことでしたが、その後の庶民(農民)の生活はどうなったのか気になります。今まで知らなかったことも多く、勉強になりました。

7) 企業部会

- ① 日時 2024年10月31日(木) 18:30~20:00
- ② 場所 丹波篠山市民センター 多目的ホール
- ③ テーマ 「企業のハラスメント対策」
～職場におけるパワーハラスメント
カスタマーハラスメントを考える～
- ④ 講師 さくぐさ たけえ 三枝 太希江さん
(兵庫働き方改革推進支援センター 社会保険労務士)
- ⑤ 参加者 128名
- ⑥ 実施状況

社会の中で様々なハラスメントが問題・課題となっている中で、企業として正しく捉えて対応していくためには何が必要か。まずはハラスメントの定義を共通理解しておくことが大切であるという観点からパワハラ、カスハラの定義について細かくお話をいただきました。「一人一人が意見を言いやすい職場であるか」「人権を尊重した職場環境であるか」各々の立場を振り返りながら意識を高めることができたのではと感じました。また、ハラスメントに対する意識を常に持ち続けるために「自分はハラスメントはしない!」と声に出すこと、カスハラを容認しないことを明記していくこと等の提案をいただきました。参加者からは、「年齢や役職に関係なくハラッサーになり得ることに気づけた」「個人を問う前に組織として考えなければならないことに気づけた」と感想がありました。

- ・第2回男女共同参画研修会「女性が活躍できる職場づくり」を企業部会の各企業に案内しました。(7名参加)

8) 高齢者部会

高齢者の人権学習は、単位老人クラブや自治会との合同で開催されました。内容は、「高齢者が消費者トラブルに巻き込まれないように」「遺骨を拾わない・お墓をつくらない 葬送」、「部落問題学習」等、幅広い人権問題について実施しました。

老人会組織が減少傾向にある中、実施困難なところもありますが、他団体と合同で開催する等、工夫をしながら意欲的に取り組まれました。実施した学習内容と会場は、資料として添付しています。

9) 地域部会

今年度の地域部会も、できる限り参加しやすいよう、また参加したい講座を選べるように、5回の「人権・同和教育セミナー」の中から選んで参加する形式にしました。こうしたことで、より多くの市民の方々に参加いただき、人権課題を正しく知るという啓発につなげようとしたのですが、第2回、第4回が気象警報のために中止になり、残念でした。

①日時、場所、内容については人権・同和教育セミナー2024を参照

②参加者

第1回セミナー	17名
第2回セミナー	(23名参加予定でしたが、台風のため中止)
第3回セミナー	9名
第4回セミナー	(19名参加予定でしたが、大雨警報のため中止)
第5回セミナー	9名
計	35名

3 啓発推進委員会

啓発推進委員会においては、これまでの調査研究活動の成果を講師・ゲストティーチャーとして、市同教の諸部会や学校教育、外部の人権関係団体の学習・研修に取り組みました。教育・啓発活動へのより効果的な取組や様々な学習・研修依頼に対応できるように検討しました。

4 人権・同和教育セミナー2024

2021年度より、「人権尊重のまち丹波篠山市」をめざして、「人権・同和教育セミナー」連続講座を開講しました。会報で広く市民に参加を募集するとともに、学校教職員や行政職員の参加を募りました。

1) 第1回人権・同和教育セミナー

- ① 日 時 2024年8月3日(土) 14:00~16:00
- ② 場 所 丹南健康福祉センター 研修室
- ③ テー マ 「部落問題から差別のない社会を考える」
- ④ 講 師 宮前 千雅子さん(関西大学人権問題研究室委嘱研究員)
- ⑤ 参加者 69名(地域部会研修会として17名を含む)
- ⑥ 実施状況

部落差別をはじめとするあらゆる差別について、属性(自らの性、国籍など)の視点に立って構造的に解説いただきました。また、丹波篠山市の部落問題に関する意識調査を実例として、部落差別の実態を読み解いていただきました。何もしなければ部落差別はなくなる「寝た子を起こすな」という考えが多く存在すること、またインターネットの社会では、部落差別が増大していることを危惧されました。差別を解消するためには、マイノリティ(少数派/当事者)が変わるの

ではなく、マジョリティ（多数派）が変わらねばならないこともお話いただきました。

2) 第2回人権・同和教育セミナー

- ① 日 時 2024年8月31日（土） 14:00～16:00
- ② 場 所 丹南健康福祉センター 研修室
- ③ テーマ 「“自分らしく生きて” っていうけれど…」
～適切な支援について日々思うこと～
- ④ 講 師 八尾 由江さん
(一般社団法人am*am代表 おひさまにここクリニック)
- ⑤ 実施状況

上記を予定していましたが、台風のため中止しました。

3) 第3回人権・同和教育セミナー

- ① 日 時 2024年9月28日（土） 14:00～16:00
- ② 場 所 丹南健康福祉センター 研修室
- ③ テーマ 「好感・共感・親近感が人権力を育む…」
～人権・同和教育のさらなる創造めざして～
- ④ 講 師 明石 一朗さん
(関西外国語大学短期大学部教授 人権教育思想研究所長)
- ⑤ 参加者 51名（地域部会研修会として9名参加を含む）
- ⑥ 実施状況

人権といえばネガティブにとらえられがちですが、幸せの追求であるという事そして、人権問題の解決は、すべての人の幸せにつながる事を語られました。

また、学校の教員時代の実例をたくさんあげてお話いただき、より具体的に説得力ある講演でした。

まちがった先入観や思い込み、無関心が差別をうみだし、正しく学ぶ事、くらしを通じて課題を自分自身に引き寄せる事（自分事として考える）の大切さを改めて教えていただきました。

4) 第4回人権・同和教育セミナー

- ① 日 時 2024年11月2日（土） 14:00～16:00
- ② 場 所 丹波篠山市立中央図書館 視聴覚ホール
- ③ テーマ 「問題の所在はどこか
LGBTs の子どもたちの存在が問いかけるもの」
- ④ 講 師 土肥 いつきさん（京都府立高校教員）
- ⑤ 実施状況

上記を予定していましたが、大雨警報のため中止しました。

5) 第5回人権・同和教育セミナー

- ① 日 時 2025年1月25日（土） 14:00～16:00
- ② 場 所 四季の森生涯学習センター 東館 大会議室
- ③ テーマ 「差別問題と市民の人権」
- ④ 講 師 奥田 均さん（近畿大学名誉教授）
- ⑤ 参加者 48名（地域部会研修会として9名参加を含む）
- ⑥ 実施状況

部落差別を「関係論」という捉え方をして、部落差別の現実を見ると、そこか

ら社会が抱えている矛盾や人権侵害の問題が見えてくると提起されました。そして部落差別の解消が、全ての人の人権保障につながる（教科書無償制度、統一応募用紙など）とお話いただきました。

5 「みんなの人権を考える」映画会

- ① 日 時 2024年8月11日（日 祝） 14:00～16:00
- ② 場 所 丹波篠山市民センター 多目的ホール
- ③ テーマ 「島守の塔」
- ④ 参加者 188名
- ⑤ 実施状況

第二次世界大戦の沖縄戦末期、本土より沖縄県知事として派遣された島田^{あきら} 徹（兵庫県出身）の実話をもとにした映画『島守の塔』を放映しました。彼は軍の命令に従い苦悩と葛藤に悩まされながらも県民疎開・保護に尽力しました。そして「命^{いのち}どう宝（命こそ宝）、生きぬけ」と叫び続けました。平和と命の尊さを学んだ映画会でした。

6 フィールドワーク

- ① 日 時 2024年8月25日（日） 9:00～16:00
- ② 場 所 「水平社博物館」 奈良県御所市
- ③ テーマ 「水平社の理念から学ぶ」～人間の尊厳と平等を求めて～
- ④ 参加者 22名
- ⑤ 実施状況

今年度は2022年にリニューアルした水平社博物館で研修をしました。差別と闘い、道を切り拓いてきた先人たちの足跡や遺志を解説いただきながら見学しました。水平社の理念でもある、「人間の尊厳と平等」をあらためて学びました。

7 連携推進事業

（1）兵庫県人権教育研究協議会・丹波地区同教・丹波市同教との連携

丹波地区人権・同和教育研究協議会の研究大会、啓発冊子編集作業に関わるなど、市域を越えた交流を行い、様々な課題について協議を行いました。丹波市同教とは交流や情報提供をしながら連携を進めてきました。

（2）部落解放同盟丹波篠山市支部連絡協議会・部落解放共闘会議との連携

各種研修会への参加を中心に行いました。

（3）人権推進課、教育委員会との連携

毎月1回、三者での打ち合わせ会を継続し、研究大会の内容や丹波篠山市の人権課題について協議しました。多様化、複雑化する人権課題について各関係機関での課題について情報交換しました。人権教育の推進や啓発に関わる関係機関として、今後も連携を密にして進めていきたいと考えています。

また、インターネットモニタリング事業として月に1回、インターネットの掲示板や閲覧可能なSNS等の差別的な書き込み、誹謗中傷等を確認し、市へ報告しています。

（4）その他

人権関係団体との連携

8 研究大会・研究集会への参加

（1）第71回兵庫県人権教育研究大会丹波地区大会

- ① 日 時 2024年7月27日（土） 9:30～12:30
- ② 場 所 丹波篠山市立四季の森生涯学習センター

③ 参加者 丹波篠山市より 116名

(2) 第71回兵庫県人権教育研究大会中央大会

- ① 日 時 2024年9月29日(日)
- ② 場 所 赤穂市文化会館赤穂化成ハーモニーホール
- ③ 参加者 丹波篠山市より 48名

(3) 第75回全国人権・同和教育研究大会

- ① 日 時 2024年11月30日(土)～12月1日(日)
- ② 場 所 熊本県熊本市
- ③ 参加者 丹波篠山市より 8名

(4) 部落解放研究第57回全国集会

- ① 日 時 2024年11月19日(火)～20日(水)
- ② 場 所 神戸市
- ③ 参加者 丹波篠山市より 2名

(5) 第39回人権啓発研究集会

- ① 日 時 2025年2月4日(火)～5日(水)
- ② 場 所 奈良県橿原市
- ③ 参加者 丹波篠山市より 1名

(6) その他

諸研究大会・研究集会に参加して学んだことを各部会や役員会の中で報告し、多くの方に広げています。

9 会報の発行、ホームページの運用

会報「人権・同和教育だより丹波篠山」を6月・10月・2月の年間3回発行しました。「人権が尊重されるまちをつくろう」「身近な生活の中から学ぼう」をテーマに、6回の編集会議を開催し協議しました。分かりやすく、読みやすい紙面になるよう、工夫しました。

ホームページでは、総会資料、会報、専門部会情報、市同教の事業(映画会、フィールドワーク、セミナー等)を掲載しております。また、気象警報等により研修会を中止せざるを得ない場合など緊急の連絡もいたします。

ホームページアドレス <http://t-s-doukyou-hr.jp>

10 市民への学習支援

講師紹介や参考資料の紹介等、各団体の研修や個々の学習を支援しました。

11 図書・出版物の紹介

図書・出版物を購入し閲覧しました。

第4号議案

2025年度 基本方針並びに活動方針・事業計画

基本方針

1. 我が国の社会に今なお存在する部落差別をはじめ、あらゆる人権課題の解消を図り、すべての人の基本的人権が尊重されるまちづくりに向け、教育や啓発活動の充実に努めます。
2. 「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」「LGBT理解増進法」「丹波篠山市人権尊重のあたたかいまちづくり条例」等、人権関係法令の理念に則り、市民、事業者、団体、機関等と広く連帯し、人権課題の解消と人権文化の確立をめざします。
3. 人権・同和教育の学習活動の場を充実させ、差別を許さない市民意識の醸成、人権意識の高い人づくり・地域づくりに努め、こころ豊かな共に生きる市民社会の実現をめざします。

活動方針

丹波篠山市人権・同和教育研究協議会（市同教）は、発足以来「差別の現実に深く学ぶ」ことを基本理念として、同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解消と人権文化の確立をめざし、教育や啓発活動に取り組んできました。

しかしながら、今もなお、私たちの社会には、AIやSNSの利用による人権リスク、ネット上に蔓延する差別的情報、子どもや若者の貧困、いじめや不登校児童生徒の増加、高齢者や子どもへの虐待、様々なハラスメントやDV、LGBTQ+など性的マイノリティ（少数派）への無理解等々、解消すべき多くの人権課題も生じています。中でもネット社会は、利用環境の急速な拡大により、誰もが、いつでも、どこにいても、容易に情報を入手・発信できる環境であり、個人に対する誹謗中傷や偏見、プライバシーの侵害等、悪意のある書き込みがあふれています。小学生のネット利用率も90%を超えており、子どもたちでさえも意図せずに加害者や被害者として巻き込まれる等、ネット社会は深刻な人権問題となっています。

さらに、今、世界では、さまざまな国や地域で戦争や紛争が多発しています。紛争は戦闘による殺傷以外にも、難民や食糧不足、劣悪な環境による感染症の発生、貧困そして子ども兵士など多くの人権問題を引き起こし、子どもや女性、高齢者を含む多数の民間人の命が失われています。

2025年は日本にとって終戦、被爆から80年の節目の年です。今起こっている紛争を、遠い地域でのこと、日本の戦争を遠い昔のこと、としてしまっただけではいけません。「戦争は最大の人権侵害である」という言葉をかみしめ、「命の尊厳」や「戦争の歴史」「紛争の現状」について学ぶことが大切です。決して無関心でいるのではなく、平和を願う気持ちを持ち続けなければなりません。

私たち市同教は、本年度も同和問題をはじめ多様化・巧妙化した様々な人権課題の解消をめざし『だれもの人権が尊重され、自分らしく生き生きとくらせるまちづくり』の実現に向け、教育や啓発活動に全力で取り組んでまいります。

前述した人権課題の解消には、私たち自身の人権意識や人権基準、そして、差別の現状認識をアップデート（更新）していくことが大切です。そのため、市同教では、本年度も「1人の100歩より100人の1歩」という言葉をしっかりと意識し、あらゆる世代の皆様にご参加いただけるよう学習や啓発の在り方を工夫してまいります。

今後とも市同教は、市民の皆様と共に、人権課題の解消に向け邁進してまいりますので、さらなるご支援・ご協力をいただきますよう心よりお願い申し上げます。

事業計画

1. 第27回丹波篠山市人権・同和教育研究大会の開催 12月13日(土)
 - ・研究大会と人権フェスタとを同一日に開催し、三者(丹波篠山市・市教委・丹波篠山市同教)で連携して取り組みます。研究大会は、田園交響ホールで開催します。
2. 専門部会
 - ・保・幼、学校、PTA、障がい者、女性の人権と性の多様性、宗教、企業、高齢者、地域部会の9部会で取り組みを進めます。9分野別に課題と向き合い、テーマを決めて課題解決につながる学びの場を提供していきます。
3. 人権・同和教育と啓発活動、人材育成活動
 - ・各専門部会での研修は、それぞれの場で学びが実践へと発展するよう研修方法を工夫していきます。各団体やグループの研修会・学習会に講師を派遣したり、資料を提供したりして教育・啓発活動を支援します。
 - ・啓発推進委員会は、人権課題を踏まえ、広く市民に人権啓発活動を行い、人権文化の根付くまちづくりを担います。
 - ・「人権尊重のまち 丹波篠山市」をめざし、「人権・同和教育セミナー」連続講座を開講します。(本年度より年5回開催から年4回開催に変更)
4. 「みんなの人権を考える」映画会には「港に灯がともる」を上映します。 8月11日(月 祝)
5. 連携推進
 - ・部落解放丹波篠山市民共闘会議との連携
 - ・丹波地区同教、兵人教との連携
 - ・市行政(人権推進課)、市教委、各団体との連携
 - インターネットモニタリング事業の協力
6. 各研究大会・研究集会へ積極的に参加し、実践交流を図り、市の人権啓発活動に反映させます。
 - ・第72回兵人教丹波地区大会 7月26日(土) 四季の森生涯学習センター
 - ・第72回兵人教中央大会 9月27日(土) 豊岡市
 - ・人権啓発研究第45回兵庫県集会 未定
 - ・部落解放研究第58回全国集会 11月10日(月)～11日(火) 宮崎県
 - ・第76回全国人権・同和教育研究大会 11月29日(土)～11月30日(日) 兵庫県、大阪府
 - ・第40回人権啓発研究集会 1月28日(水)～29日(木) 群馬県前橋市
7. 広報啓発事業
 - ・会報「人権・同和教育だより 丹波篠山」を年2回(6月、10月)発行し、市同教の取り組みの状況を知らせるとともに、日々の生活を見つめ、感動することや不合理に感じることを市民で考え合う場となるよう工夫していきます。(本年度より年3回発行から年2回発行に変更)
 - また、インターネットのホームページ上で人権に関わる様々な情報などを市民の皆さんへ提供しています。総会資料、会報、専門部会情報、セミナーの募集、市同教の予定、関係法等を掲載しています。また、気象警報等により研修会を中止せざるを得ない場合など緊急の連絡もします。
 - ホームページアドレス：<http://t-s-doukyou-hr.jp>
8. 市民への学習支援
 - ・一人からの学びの要望に応じ、講師や参考資料(図書・出版物等)の紹介等、研修会・学習会の支援(計画から実施)を行います。
9. その他、目的達成に必要な事業